



脱炭素を楽しくかっこよく。

踏み出そう脱炭素ライフスタイルへの一歩！

市民協働ファシリテーター養成研修
ワークショップレポート



報告の流れ

1. 地球温暖化対策室のニーズ
2. 開催概要
3. ワークショップの流れ
4. WSのアウトプット
5. 気づき
6. 提言
7. 私たちの宣言

地球温暖化対策室のニーズ



① 市民にアクションを実践していただくために、事業者や行政が連携して取り組むための仕掛け

② 市民が地球温暖化を自分ごととして捉え、2050年の脱炭素ライフスタイル像を目指していただくための手法

WSの開催概要

脱炭素を楽しくかっこよく。
踏み出そう脱炭素ライフスタイルへの一歩！

日時：2023年11月21日 10:00-12:00

場所：京都御池創生館B1F

参加者：市民など9名

(20～50代、うち学生1人)



WSの流れ

1. 目標と現状の共有

「脱炭素につながるこんなことしています！」

2. アイデアの発掘

「50年後の京都はどんな暮らし？」

3. アイデアの深掘り

「あなたがやってみたい、実現したい暮らしは？」

4. アイデアの具現化

「脱炭素ライフスタイルの一步を踏み出すための
〇〇が実現！」

5. 共有

6. 振り返り

きっかけづくりが大切

WSのアウトプット

緑化の義務化

メリットがないとやらない

何かを新しく作るより、
すでにあるものを大切にしたい

余暇発電

京町屋を残したい

自家発電

おしゃれじゃないとやらない
(エコバックはおしゃれだから
流行ったのでは?)

(住んでみると快適)

(レベル1~5段階
評価で見える化)

自給自足

(それ以上は必要ない)

ソーラーパネルも必要以上にはいらない

(わざわざ農地にまで置かなくも
いいのでは? 農業しようよ!)

アウトプットからの気づき

・きっかけづくりが大切

⇒ 知れば興味を持っていただけるかもしれない。
興味のない人が「脱炭素」にふれる機会をどう作るか！

・メリットがないとやらない

⇒ 「自分ごととして捉える」という責任感だけでは限界がある。
メリットを知っていただくこと、創出することが重要！

・あるべきものはあるべき姿で、必要以上のものはいらない

⇒ 新規投資にばかり目がいくが、すでにあるものを活用すること、
自然と共生する生き方に立ち返ることも大切！



脱炭素チームの宣言

- 自分事として市政に関わる
- 問題意識をもつきっかけづくり、対話を続ける
- 縦割りではなく全庁的なアプローチ
→ ビッグウェーブを生み出す

ご清聴ありがとうございました

